

INTERNET FACSIMILE EQUIPMENT AND CONTROL METHOD THEREFOR

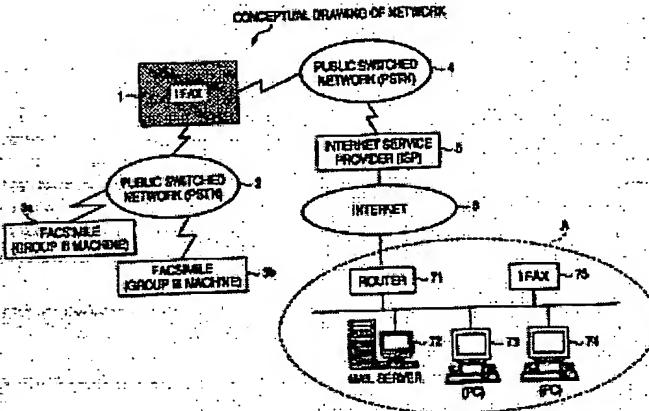
Patent number: JP2002185743
Publication date: 2002-06-28
Inventor: OBAYASHI NOBUYUKI
Applicant: FUJI XEROX CO LTD
Classification:
- international: H04N1/32; H04L12/54; H04L12/58; H04N1/00
- european:
Application number: JP20000380344 20001214
Priority number(s):

Also published as:
 US2002075521 (A1)

Abstract of JP2002185743

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve operability in the case of simultaneously transmitting facsimile(FAX) and electronic mail(E-Mail) and to correctly confirm a communication result equally to facsimile communication in the transmission of the electronic mail as well.

SOLUTION: In this Internet facsimile equipment 1, by the transmission instruction of one time by a user, scanned and stored image information is multi-address transmitted by the facsimile communication and electronic mail communication.



Data supplied from the esp@cenet database - Patent Abstracts of Japan

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-185743

(P2002-185743A)

(43)公開日 平成14年6月28日 (2002.6.28)

(51) Int.Cl.⁷
H 04 N 1/32
H 04 L 12/54
12/58
H 04 N 1/00

識別記号
1 0 7

F I
H 04 N 1/32
1/00
H 04 L 11/20

デーマコード(参考)
H 5 C 0 6 2
1 0 7 Z 5 C 0 7 5
1 0 1 Z 5 K 0 3 0

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2000-380344(P2000-380344)

(71) 出願人 000005496

富士ゼロックス株式会社
東京都港区赤坂二丁目17番22号

(22) 出願日 平成12年12月14日 (2000.12.14.)

(72) 発明者 大林 信幸
埼玉県岩槻市府内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社岩槻事業所内

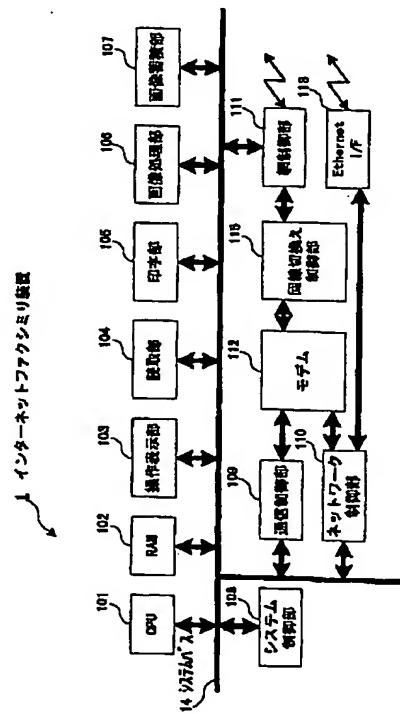
(74) 代理人 100071054
弁理士 木村 高久
F ターム(参考) 5C062 AA02 AA29 AB38 AB41 AB42
AC38 AF00 AF02 BC01 BD09
5C075 AB90 CF01 CP09 DD03 DD90
5K030 GA18 HA05 HC01 LD11 MB18

(54) 【発明の名称】 インターネットファクシミリ装置及びその制御方法

(57) 【要約】

【課題】 ファクシミリ (FAX) および電子メール (E-Mail) の送信を同時に進行場合の操作性を向上させ、且つ電子メールの送信においても、ファクシミリ通信と同等に正しく通信結果を確認することを可能とする。

【解決手段】 インターネットファクシミリ装置 1 では、ユーザによる一回の送信指示により、スキャン蓄積した画情報をファクシミリ通信及び電子メール通信にて同報送信する。



(2)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 スキャン蓄積した画情報をファクシミリ通信または電子メール通信として送出可能なインターネットファクシミリ装置において、
一回の送信指示により、前記スキャン蓄積した画情報をファクシミリ通信及び電子メール通信にて同報送信する同報送信制御手段を具備することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項2】 前記同報送信手段による同報送信の通信結果を、通信結果レポートとして出力する出力手段を更に具備することを特徴とする請求項1記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項3】 前記出力手段は、
全ての宛先への送信動作が完了した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする請求項2記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項4】 前記出力手段は、
全ての宛先への送信動作が完了した後、所定の時間が経過した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする請求項2記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項5】 前記出力手段は、
送信動作を行った全ての宛先に正しく画情報が送られたか否かの通知を受信した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする請求項2記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項6】 前記出力手段は、
前記同時送信を指示された宛先に応じて異なるタイミングで、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする請求項2記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項7】 前記報知手段の通信結果レポートの出力タイミングを任意に選択設定する設定手段を更に具備することを特徴とする請求項2記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項8】 前記同報送信手段による同報送信の通信結果は、送信が完了した時点で登録され、その後その他の要因によりその通信結果に変更があった場合、当該通信結果を更新する更新手段を更に具備することを特徴とする請求項1記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項9】 スキャン蓄積した画情報をファクシミリ通信または電子メール通信として送出可能なインターネットファクシミリ装置の制御方法において、
一回の送信指示により、前記スキャン蓄積した画情報をファクシミリ通信及び電子メール通信にて同報送信し、前記同報送信の通信結果を、通信結果レポートとして出力することを特徴とするインターネットファクシミリ装置の制御方法。

【請求項10】 全ての宛先への送信動作が完了した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする請求項9記載のインターネットファクシミリ装置の制

2

御方法。

【請求項11】 全ての宛先への送信動作が完了した後、所定の時間が経過した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする請求項9記載のインターネットファクシミリ装置の制御方法。

【請求項12】 送信動作を行った全ての宛先に正しく画情報が送られたか否かの通知を受信した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする請求項9記載のインターネットファクシミリ装置の制御方法。

10 【請求項13】 前記同時送信を指示された宛先に応じて異なるタイミングで、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする請求項9記載のインターネットファクシミリ装置の制御方法。

【請求項14】 前記通信結果レポートの出力タイミングを任意に選択設定することを特徴とする請求項9記載のインターネットファクシミリ装置の制御方法。

【請求項15】 前記同時送信の通信結果は、送信が完了した時点で登録され、その後その他の要因によりその通信結果に変更があった場合、当該通信結果を更新することを特徴とする請求項9記載のインターネットファクシミリ装置の制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットファクシミリ装置及びその制御方法に関し、特に、ファクシミリ(FAX)および電子メール(E-Mail)の送信を同時にを行う場合の操作性を向上させ、且つ電子メールの送信においても、ファクシミリ通信と同等に正しく通信結果を確認することが可能なインターネットファクシミリ装置およびその制御方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のインターネットファクシミリ(iFAX)装置においては、ファクシミリ及び電子メールの送信を指示する場合、それぞれ個別に送信指示を行わなければならない。

【0003】また、従来のインターネットファクシミリ(iFAX)装置においては、ファクシミリ(FAX)の送信は相手と直接データ通信を行なうため送信が完了したことを確認することは難しくないが、電子メール(E-Mail)の送信においては、サーバ等を経由するため、サーバへの転送動作が正常に完了しても、本来送信したい宛先に正しく送られたかどうかを確認することは容易ではない。

【0004】このため、E-Mailの送信においては、装置からの送信動作が完了した時点では、E-Mailによる送信が相手に送信されたかの確認が不明であり、FAXとE-Mailでは良好に送信されたという通信結果の意味合いが異なるレポートが排出されることになる。

50 【0005】

(3)

3

【発明が解決しようとする課題】上述の如く、従来のインターネットファクシミリ装置にあっては、FAX及びE-Mailの送信を指示する場合、それぞれ個別に送信指示を行わなければならず、ユーザにとっては操作に手間がかかるものとなっていた。

【0006】また、従来のインターネットファクシミリ(iFAX)装置にあっては、E-Mailの送信においては、装置からの送信動作が完了した時点では、E-Mailによる送信が相手に送信されたかの確認が不明であり、FAXとE-Mailでは良好に送信されたという通信結果の意味合いが異なるレポートが排出されており、これにより、ユーザにとっては、E-Mail送信の通信結果を正しく確認することができなかつた。

【0007】そこで、本発明では、上記問題点を解消し、ファクシミリ(FAX)および電子メール(E-Mail)の送信を同時に行う場合の操作性を向上させ、且つ電子メールの送信においても、ファクシミリ通信と同等に正しく通信結果を確認することが可能なインターネットファクシミリ装置およびその制御方法を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成させるために、請求項1の発明では、スキャン蓄積した画情報をファクシミリ通信または電子メール通信として送出可能なインターネットファクシミリ装置において、一回の送信指示により、前記スキャン蓄積した画情報をファクシミリ通信及び電子メール通信にて同報送信する同報送信制御手段を具備することを特徴とする。

【0009】また、請求項2の発明は、請求項1の発明において、前記同報送信手段による同報送信の通信結果を、通信結果レポートとして出力する出力手段を更に具備することを特徴とする。

【0010】また、請求項3の発明は、請求項2の発明において、前記出力手段は、全ての宛先への送信動作が完了した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする。

【0011】また、請求項4の発明は、請求項2の発明において、前記出力手段は、全ての宛先への送信動作が完了した後、所定の時間が経過した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする。

【0012】また、請求項5の発明は、請求項2の発明において、前記出力手段は、送信動作を行った全ての宛先に正しく画情報が送られたか否かの通知を受信した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする。

【0013】また、請求項6の発明は、請求項2の発明において、前記出力手段は、前記同時送信を指示された宛先に応じて異なるタイミングで、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする。

【0014】また、請求項7の発明は、請求項2の発明

4

において、前記報知手段の通信結果レポートの出力タイミングを任意に選択設定する設定手段を更に具備することを特徴とする。

【0015】また、請求項8の発明は、請求項1の発明において、前記同報送信手段による同報送信の通信結果は、送信が完了した時点で登録され、その後その他の要因によりその通信結果に変更があった場合、当該通信結果を更新する更新手段を更に具備することを特徴とする。

【0016】また、請求項9の発明は、スキャン蓄積した画情報をファクシミリ通信または電子メール通信として送出可能なインターネットファクシミリ装置の制御方法において、一回の送信指示により、前記スキャン蓄積した画情報をファクシミリ通信及び電子メール通信にて同報送信し、前記同報送信の通信結果を、通信結果レポートとして出力することを特徴とする。

【0017】また、請求項10の発明は、請求項9の発明において、全ての宛先への送信動作が完了した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする。

【0018】また、請求項11の発明は、請求項9の発明において、全ての宛先への送信動作が完了した後、所定の時間が経過した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする。

【0019】また、請求項12の発明は、請求項9の発明において、送信動作を行った全ての宛先に正しく画情報が送られたか否かの通知を受信した時点で、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする。

【0020】また、請求項13の発明は、請求項9の発明において、前記同時送信を指示された宛先に応じて異なるタイミングで、前記通信結果レポートを出力することを特徴とする。

【0021】また、請求項14の発明は、請求項9の発明において、前記通信結果レポートの出力タイミングを任意に選択設定することを特徴とする。

【0022】また、請求項15の発明は、請求項9の発明において、前記同時送信の通信結果は、送信が完了した時点で登録され、その後その他の要因によりその通信結果に変更があった場合、当該通信結果を更新することを特徴とする。

【0023】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る実施の形態について添付図面を参照にして説明する。

【0024】図1は、本発明のインターネットファクシミリ装置(iFAX)1が適用されるネットワークの一構成例を示す概念図である。

【0025】図1に示すように、このネットワーク概念図においては、インターネットファクシミリ装置(iFAX)1は、公衆交換網(PSTN)2を介してG3機等のファクシミリ装置(以下、単に「FAX」とい

(4)

5

う。)と接続されるとともに、公衆交換網(PSTN)4を介し、インターネットサービスプロバイダ(ISP)5、インターネット6を介してネットワークAのルータ71を介して他のFAX75と、パーソナルコンピュータ(以下、単に「PC」という。)73および74と接続されてている。

【0026】ここで、インターネットファクシミリ装置(iFAX)とは、従来、電話回線上で送受信していたFAXデータをインターネットおよびイントラネットなどのIPネットワークを一部または全ての伝送路に利用して送受信したり、或いはIPネットワーク上でFAXを送受信することが可能な機器である。

【0027】図2は、上記図1に示した本発明のインターネットファクシミリ装置(iFAX)1のシステム構成を示す図である。

【0028】図2に示すように、このインターネットファクシミリ装置1(iFAX)は、CPU101、RAM102、操作表示部103、読取部104、印字部105、画像処理部106、画像蓄積部107、システム制御部108、通信制御部109、ネットワーク制御部110、網制御部111、回線切換部115がシステムバス114を介して接続され、さらにファクシミリからの受信のためのモデム112とイーサネット(登録商標)(Ethernet(登録商標))I/F113を具備している。

【0029】ここで、CPU101は、インターネットファクシミリ装置(iFAX)1全体の制御処理を行う。また、RAM102は、インターネットファクシミリ装置1の制御に用いる記憶装置である。また、操作表示部103は、インターネットファクシミリ装置(iFAX)1を操作するものである。また、読取部104は、送信原稿を読み取るものである。また、画図処理部106は、符号化、復号化、拡大、縮小等の処理を行う部分である。また、画像蓄積部107は、画情報を格納する部分である。また、システム制御部108は、インターネットファクシミリ全体を制御するプログラムであり、例えば、ROM等から成る。また、通信制御部109は、電話網に適した通信ヲ制御するためのものである。また、ネットワーク制御部110は、ネットワークに接続する通信を制御するためのものである。また、網制御部111は、網へ接続するためのものである。また、モデム112は、変復調装置であり、低速モードと高速モードを機能を備えている。また、Ethernet I/F113は、Ethernetに接続するためのインターフェースである。また、システムバス114は、相互にデータのやり取りをするためのバスである。また、回線切換部115は、複数の外部回線インターフェースと複数の内部通信回路を接続するためのものである。

【0030】そして、上記構成要素のCPU101～網

6

制御部111は、システムバス114を介して相互にデータの送受を行なう。

【0031】また、通常のScan to E-mail送信の際には、操作表示部103より蓄積及び送信のパラメータが指示され、その指示に基づいて読取部104から画情報が読込まれる。読込まれた画情報は、画像蓄積部107に蓄積された後、システム制御部108の制御のもとで、RAM102をバッファとして用いて、画像処理装置106を必要に応じて使いつつ処理を行い、画像蓄積部108の中の画像を送信に適した形式に変換し、最終的にモデム112、網制御部111と通信制御部109を介して電話網にファクシミリとして送出するか、又はネットワーク制御部110からEthernet I/F113を経由してE-mail送信を行う。

【0032】図3は、上記図2に示したインターネットファクシミリ装置(iFAX)1の操作表示部103上に表示される送信指示画面103-1の一構成例を示す図である。

【0033】図3において、(a)が1つの宛先に対して送信する場合の設定状態の一例を示し、この例では、宛先Aの入力欄に「03-*****-1234」が入力設定されている状態を示している。

【0034】また、同図3(b)が複数の宛先に対して送信する場合の設定状態の一例を示し、この例では、宛先Aの入力欄に「03-*****-1234」が、宛先Bの入力欄に「F.Taro@fujixero.co.jp」が、宛先Cの入力欄に「03-*****-5678」が、宛先Dの入力欄に「F.Hanako@jittaku.ne.jp」が、宛先Eの入力欄に「F.Hanako@fujixer.co.jp」が入力設定されている状態を示している。

【0035】本発明のインターネットファクシミリ装置(iFAX)1では、この送信指示画面103-1を用いてファクシミリ(FAX)通信および電子メール(E-mail)通信の両方の送信指示が行え、ユーザ(使用者)は、送信したい宛先がFAXの場合には電話番号情報を、E-mailの場合にはメールアドレス情報を入力して送信指示を行う。

【0036】また、送信したい相手先が複数ある場合であってFAXおよびE-mailといった異なる通信が混在する場合でも、同時に異なる宛先情報、すなわち電話番号情報およびメールアドレス情報を入力して同時に送信指示を行える。

【0037】図4は、上記図2に示したインターネットファクシミリ装置(iFAX)1の操作表示部103上に表示される結果レポート排出設定画面103-2の一構成例を示す図である。

【0038】図4に示すように、この結果レポート排出設定画面103-2では、結果レポートの排出をするか否かを設定するボタンアイコン103-2aと、結果レ

(5)

7

ポートの排出をする場合に、レポート排出のタイミングの設定をするためのボタンアイコン103-2bとを備えている。

【0039】ここで、結果レポートを排出する場合のタイミングの種別としては、(A)として「マシンからの送出が完了した時点」、(B)として「マシンからの送出が完了してN分経過した時点」、(C)として「E-Mailの送達確認通知(DSN(Delivery Status Notifications)/MDN(Mwssege Disposition Notifications)が返信された時点」、(D)として「(B)又は(C)の条件が成立した時点」がある。

【0040】ユーザ(使用者)は、この結果レポート排出設定画面103-2を用いて、送信動作を行う際にその結果レポートの排出の有無を指示することができる。なお、この時、ユーザが、結果レポートの排出をする旨の指示をしない場合は、装置の設定に基づいて排出をするか否かを判断するようしておく。また、ユーザは、この結果レポート排出設定画面103-2を用いて、結果レポート排出のタイミングも設定することができる。

【0041】なお、この例では、ユーザにより、結果レポート排出をするためボタンアイコン103-2aの「する」が選択押下された状態を示しており、また、結果レポート排出のタイミングの設定のうち、ボタンアイコン103-2bの(A)が選択押下された状態を示している。

【0042】図5は、上記図2に示したインターネットファクシミリ装置(iFAX)1の操作表示部103上に表示される通信結果チェック画面の一構成例を示す図である。

【0043】図5に示すように、この通信結果チェック画面103-3では、表示項目情報として、「送信ジョブ番号(No.)」項目情報と、「通信手段」項目情報と、「宛先」項目情報と、「通信結果の内容」項目情報を表示するように構成されている。そして、送信ジョブ番号に関連付けて各項目の内容が表示される。

【0044】ここで、送信ジョブ番号(No.)には、送信したジョブの番号を示す内容が表示され、通信手段には、通信形態種別、ファクシミリ通信かE-Mail通信かを示す内容が表示され、宛先には、送信先の宛先情報を示す内容が表示され、通信結果の内容には、各送信ジョブの通信結果を示す内容が表示される。

【0045】そして、この例では、送信ジョブ番号(No.1)に、通信手段項目情報として「FAX」が、宛先項目情報として「03-*****-1234」が、通信結果の内容項目情報として「良好」が表示され、送信ジョブ番号(No.2)に、通信手段項目情報として「E-Mail」が、宛先項目情報として「F.Taro@fujiixerex.co.jp」が、通信結果の内容項目情報として「送出完了」が表示され、送信ジョブ番号(No.3)に、通信手段項目情報として「E-

8

Mail」が、宛先項目情報として「F.Hanako@jittaku.ne.jp」が、通信結果の内容項目情報として「要再送信」が表示され、……送信ジョブ番号(No. n-1)に、通信手段項目情報として「FAX」が、宛先項目情報として「03-*****-5678」が、通信結果の内容項目情報として「要再送信」が表示され、送信ジョブ番号(No. n)に、通信手段項目情報として「E-Mail」が、宛先項目情報として「F.Hanako@fujiixerex.co.jp」が、通信結果の内容項目情報として「送出完了」が表示されている状態を示している。

【0046】このように、本発明のインターネットファクシミリ装置(iFAX)1では、FAXの送信においては、送信動作が完了した時点で、通信結果の内容として「良好」又は「要再送信」の登録を行うとともに、この登録内容をユーザの指示に応じて操作表示部103上に表示させ、ユーザに報知する構成を有する。

【0047】また、E-Mailの送信においては、サーバへの送信動作が完了した時点で、通信結果の内容として「送出完了」または「要再送信」の登録を行うとともに、この登録内容を操作表示部103上に表示させ、ユーザに報知する構成を有する。なお、E-Mailの送信においては、MDNS/DSNの送達確認通知により正常に送信が完了したと認識できた場合には、通信結果の内容「送出完了」を「良好」に更新するとともに、送信に失敗したと認識できた場合には、通信結果の内容「送出完了」を「要再送信」に更新する。

【0048】このような構成により、ユーザは、ファクシミリ(FAX)通信および電子メール(E-Mail)通信といった異なる通信が混在する送信指示の通信結果を、表示画面上で正しく確認することができる。

【0049】ここで、上記実施例におけるハードコピーとして出力される通信結果を印字したレポートと、操作表示部上に表示される通信結果のチェック情報が特許請求の範囲での通信結果レポートに相当する。

【0050】図6は、上記図2に示した本発明のインターネットファクシミリ装置(iFAX)1における結果レポート排出制御の処理手順を示すフローチャートであり、この場合、ユーザにより上記図2に示した送信指示画面103-1を用いて複数の送信宛先が指定され送信指示が行われた場合の装置内部の結果レポート排出制御の処理手順を示している。

【0051】図6に示すように、この処理では、インターネットファクシミリ装置(iFAX)1において、まず、ユーザの1回の送信指示に基づく全ての宛先に対する送信動作が完了したかどうかが判定され(ステップS101)、この判定により全ての宛先に対する送信動作が完了したと判定された場合に(ステップS101YES)、この処理が開始される。

【0052】次いで、全ての宛先がFAX送信であるか

(6)

9

どうかが判定される（ステップS102）。

【0053】この判定の結果、全ての宛先がFAX送信であると判定された場合（ステップS102YES）、次いで、上述の図4に示した結果レポート排出設定画面103-2にてユーザにより、結果レポートの排出を行う旨の指示がされているかどうかが判定される（ステップS103）。

【0054】この判定の結果、結果レポート排出をする指示がされていると判定された場合（ステップS103YES）、次いで、結果レポートの排出を行い（ステップS104）、この処理を終了する。

【0055】他方、上記ステップS103の判定の結果、ユーザにより結果レポートの排出をする指示がされていないと判定された場合（ステップS103NO）、この処理を終了する。

【0056】また、上記ステップS102の判定の結果、全ての宛先がFAX送信でないと判定された場合（ステップS102）、次いで、ユーザ指示のチェックを行う。例えば、まずユーザ指示が（A）であるかどうかが判定される（ステップS105）。

【0057】この判定の結果、ユーザ指示が（A）であると判定された場合（ステップS105YES）、次いで、上述のステップS104に移行して即結果レポートの排出が行われ、この排出完了後、この処理を終了する。

【0058】また、他方、上記ステップS105の判定の結果、ユーザ指示が（A）でないと判定された場合（ステップS105NO）、次いで、ユーザ指示が（B）であるかどうかが判定される（ステップS106）。

【0059】この判定の結果、ユーザ指示が（B）であると判定された場合（ステップS106YES）、次いで、予め設定されたN（N：任意の整数）分のタイマが起動され（ステップS107）、このN分のタイマがタイムアップしたと判定された場合に（ステップS108YES）、上述のステップS104に移行して結果レポートの排出が行われ、この排出完了後、この処理を終了する。

【0060】また、上記ステップS106の判定の結果、ユーザ指示が（B）でないと判定された場合（ステップS106NO）、次いで、ユーザ指示が（C）であるかどうかが判定される（ステップS109）。

【0061】この判定の結果、ユーザ指示が（C）であると判定された場合（ステップS109YES）、次いで、全てのE-Mailの宛先から送達確認信号（DSN/MDN）の返信が有ったかどうかが判定される（ステップS110）。

【0062】この判定の結果、全てのE-Mailの宛先から送達確認信号（DSN/MDN）の返信が有ったと判定された場合（ステップS110YES）、上述の

10

ステップS104に移行して、結果レポートの排出が行われ、この排出完了後、この処理を終了する。

【0063】また、他方、上記ステップS109の判定の結果、ユーザ指示が（C）でないと判定された場合（ステップS109NO）、すなわち、ユーザ指示が（D）である場合、次いで、上記ステップS108で述べた（X）：「N分タイマがタイムアップしたかどうかの判定」と同様の判定と、上記ステップS110で述べた（Y）：「全てのE-Mailの宛先から送達確認通知の返信が有ったかどうかの判定」と同様の判定において、いずれかの条件が成立したかどうかが判定され（ステップS111）、この判定の結果、（X）、（Y）のいずれかの条件が成立したと判定された場合（ステップS111YES）、上記ステップS104の処理に移行して、結果レポートの排出が行われ、この排出完了後、この処理を終了する。

【0064】このような構成により、ユーザは、ファクシミリ（FAX）通信および電子メール（E-Mail）通信といった異なる通信が混在する送信指示の通信結果を、通信結果レポートとして正しく確認することができる。

【0065】また、上述した各構成により、E-Mailの送信においては、相手に正しく送信できたことが確認できたらその結果情報を更新又は排出することで、FAX送信と同等の通信結果情報をユーザに通知することが可能となる。

【0066】また、送信相手先がFAX又はE-Mailかによって、最適な通信結果レポート排出のタイミングを自由に選択して、排出させることができるとなる。

【0067】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のインターネットファクシミリ装置によれば、一回の送信指示により、スキャン蓄積した画情報をファクシミリ通信及び電子メール通信にて同報送信することが可能となる。

【0068】また、本発明によれば、上記同時送信の通信結果を表示画面上に表示したり、或いは通信結果レポートとして排出してユーザに報知することも可能となる。

【0069】また、本発明によれば、上記通信結果レポートを排出するタイミングを自由に選択して排出させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のインターネットファクシミリ装置が適用されるネットワークの一構成例を示す概念図。

【図2】図1に示した本発明のインターネットファクシミリ装置のシステム構成を示す図。

【図3】図2に示したインターネットファクシミリ装置の操作表示部上に表示される送信指示画面の一構成例を示す図。

【図4】図2に示したインターネットファクシミリ装置

(7)

11

の操作表示部上に表示される結果レポート排出設定画面の一構成例を示す図。

【図5】図2に示したインターネットファクシミリ装置の操作表示部上に表示される通信結果チェック画面の一構成例を示す図。

【図6】図2に示した本発明のインターネットファクシミリ装置における結果レポート排出制御の処理手順を示すフローチャート。

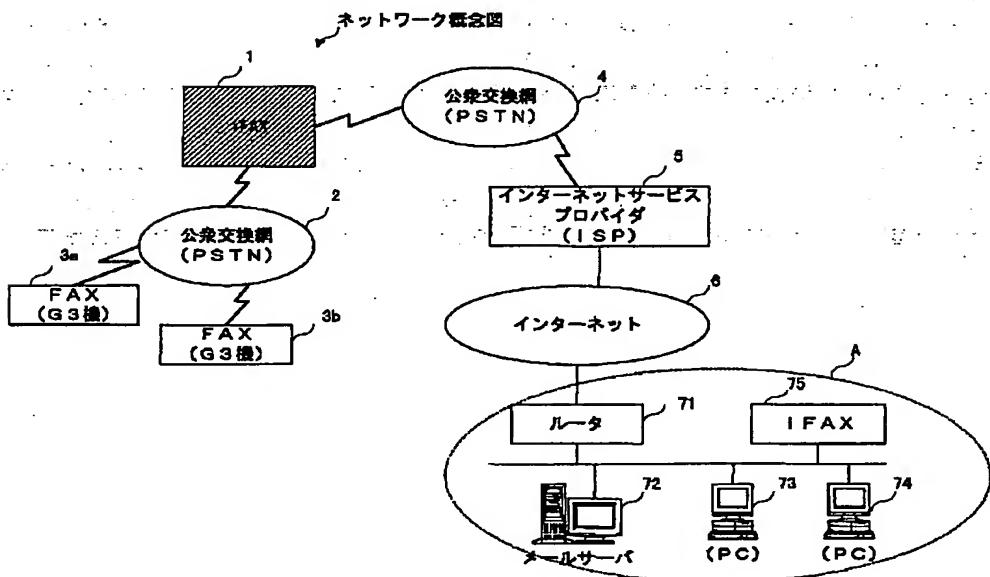
【符号の説明】

1…インターネットファクシミリ装置 (i FAX)、2…公衆交換網 (PSTN)、3a…FAX (G3機)、3b…FAX (G3機)、4…公衆交換網 (PSTN)、5…インターネットサービスプロバイダ (ISP)

(12)

P)、6…インターネット、A…ネットワーク、71…ルータ、72…メールサーバ、73…パーソナルコンピュータ (PC)、74…パーソナルコンピュータ (PC)、75…i FAX、101…CPU、102…RAM、103…操作表示部、104…読み取り部、105…印字部、106…画像処理部、107…画像蓄積部、108…システム制御部、109…通信制御部、110…ネットワーク制御部、111…網制御部、112…モデム、113…Ethernet I/F、114…システムバス、115…回線切換制御部、103-1…送信指示画面、103-2…結果レポート排出設定画面、103-3…通信結果チェック画面

【図1】



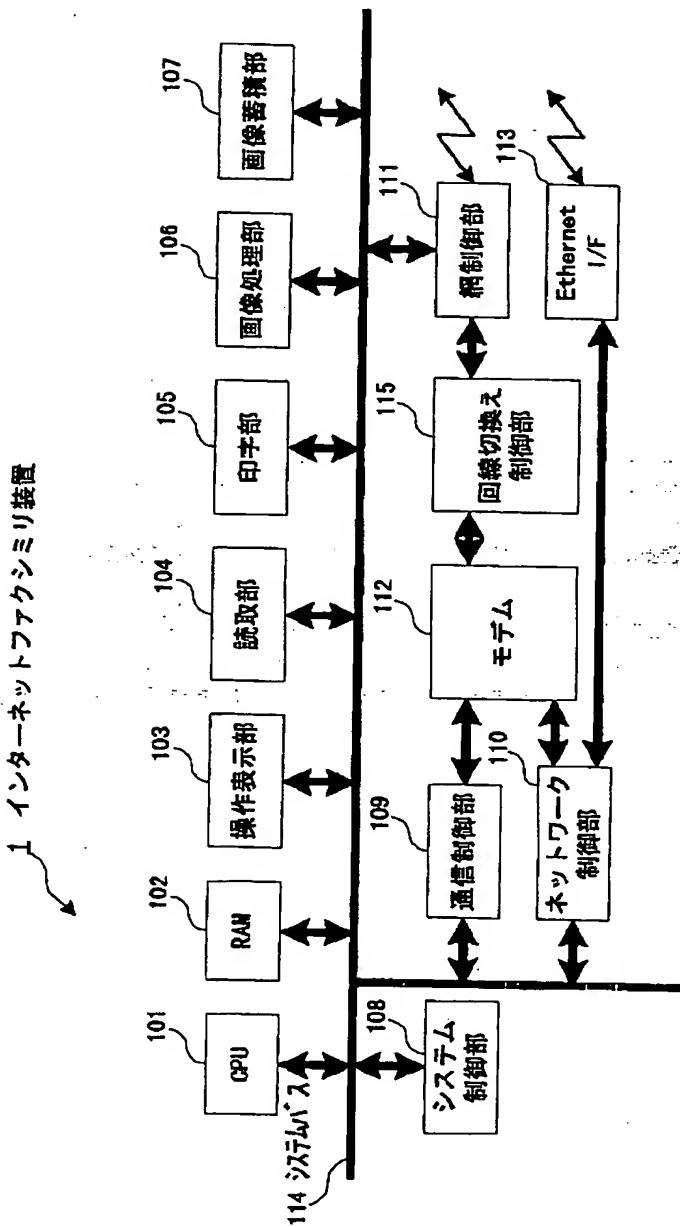
【図4】

103-2 結果レポート排出設定画面

結果レポートの排出設定画面	
結果レポートの排出 [<input checked="" type="checkbox"/> / しない]	
レポート排出のタイミングの設定	
(A)	: 「マシンからの送出が完了した時点」
(B)	: 「マシンからの送出が完了してN分経過した時点」
(C)	: 「E-Mailの送達確認通知(DSN/MDN)が返信された時点」
(D)	: 「(B) 又は (C) の条件が成立した時点」

(8)

【图2】



(9)

【図3】

103-1 送信指示画面

送信指示画面	
(a)	実先A: 03-****-1234 実先B: 実先C: 実先D: 実先E: 次へ
	スタート

103-1 送信指示画面

送信指示画面	
(b)	実先A: 03-****-1234 実先B: F.Taro@fujiixerex.co.jp 実先C: 03-****-5678 実先D: F.Hanako@jitaku.ne.jp 実先E: F.Hanako@fujiixerex.co.jp 次へ
	スタート

【図5】

103-3 通信結果チェック画面

通信結果チェック画面			
送信 ジョブ No.	通信手段	実先	通信結果の内容
No. 1	FAX	03-****-1234	「良好」
No. 2	E-Mail	F.Taro@fujiixerex.co.jp	「送出完了」
No. 3	E-Mail	F.Hanako@jitaku.ne.jp	「要再送信」
⋮	⋮	⋮	⋮
No. n-1	FAX	03-****-5678	「要再送信」
No. n	E-Mail	F.Hanako@fujiixerex.co.jp	「送出完了」

→ (「良好」)
MDS/DSNの通知により、
正常に送信完了した場合に更新される。

→ (「要再送信」)
MDS/DSNの通知により、
送信に失敗した場合に更新される。

(10)

[図6]

